

# 大会の運営について

大会事務局

## 0. コロナ対策について

---

### (1) 事前準備

#### ○大会参加チームの事前準備

(ア)チーム内において感染対策責任者を定め、大会実施委員会の感染対策責任者を把握する。

(イ)競技会・試合に参加する上での注意事項を選手・スタッフ全員が理解する。(不安がある場合は参加を見送る)

(ウ)大会実施委員から健康管理表を入手し、競技会開催日まで健康チェックを行う。

(エ)選手が未成年の場合は、保護者が競技会の会場、日時、対戦相手を理解しており、参加を了承している。(了承しない場合は無理に参加させない。)

(オ)イベント中に誰とどのくらいの距離で何分くらい話したか、その時にマスクを着用していたかなど、他人との接触状況を記憶しておく。(感染者発生発覚の際の濃厚接触者特定に役立つため)

#### ○大会事務局の事前準備について

(ア)運営諸室においては、各部屋にアルコール消毒液を設置する。また、3密が発生する環境を阻止する。座席を設置する場合は2m程度離し、正面に向き合うことのないようにする。

(イ)関係者、参加チームの選手・スタッフ、マッチオフィシャルが競技会の際に手洗いをこまめに行えるように手洗い場所(「手洗いは30秒以上」の表示)を確保する。また、ポンプ型の石鹸、消毒液を用意する。

(ウ)トイレについても同様にポンプ型の石鹸、消毒液等を用意する。また、便器の蓋を閉めて汚物を流すように表示する。

(エ)ロッカールームは3密のリスクが高いことから使用しないこととする。

(オ)一日に同会場で複数試合を行う場合は、ドアノブ・取手・ベンチ等を試合終了毎に消毒する。

(カ)審判控室についても(ア)と同様に3密にならないよう配慮する。

(キ)原則マッチコーディネーションミーティングは行わず、ユニフォームについては事前に決めることとする。

(ク)観客については、現状の役員体制では感染症対策を十分に講じることが難しいため、会場には入れない。具体的には①生徒の保護者②参加校の一般生徒③その他一般の方は会場・施設内入場不可とし、④メンバー登録されなかった部員⑤学校の報道部員・卒業アルバム業者は入場可能とする。

※ただし、④、⑤については選手同様健康チェックシートで2週間前より健康観察を行い異常のない者に限る。また、④については大声を出したり手を叩く等の応援行為を禁ずる。⑤については最小限の人数とし、事前に申請することとする。

(ケ)メディアについても健康チェックシートの提出を義務付ける。事前に取材申請した者、各社1名程度の取材を許可する。

(コ)事前申請する報道・出場チームの卒業アルバム作成業者等とメディアについては、会場責任者に周知する。

## (2) 往復の移動

(ア)マスクを着用する。

(イ)往復の交通公共機関利用時にはラッシュ時や混んでいる車両を避ける。

(ウ)窓を開ける等、換気がよくなる工夫をする。

(エ)切符を買うために使う指を限定し、その際に使用した指で顔や目を触らない。

(オ)電車・バス等公共の交通機関内において、常に他者と距離をとり、会話も控える。

(カ)目的地に到着後、特につり革、手すりなどを触った手を手洗い、消毒、うがいをする。

(キ)寄り道をせずに、できるだけ早く帰宅する。

## (3) 試合前

(ア)選手・指導者・スタッフはマスクを着用し、会話を最小限に留める。

(イ)健康チェックシートを会場の感染対策責任者に提出する。

(ウ)着替えを素早く済ませ、更衣室から早く出る。

(エ)更衣室が狭い場合の更衣の順番についてはローテーションを組む等の工夫をする。更衣終了後は更衣室の窓とドアを開けっ放しにする。

(オ)試合開始前のセレモニー（握手やハイタッチ等）は行わない。

(カ)円陣は行わない。

(キ)ミーティングの回数・時間を減らす、もしくは行わない。

## (4) 試合中

○試合関係者のコミュニケーション、給水等について

(ア)指導者・スタッフ、ベンチに座る選手はマスクを着用する。

(イ)プレー以外の不要な接触を避ける（得点後の喜び、交代時の握手等）。

(ウ)ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも距離についてしっかりと配慮する。

(エ)ベンチでの選手間の距離を2m程度保つ。

(オ)サブの選手は、アップ時の他の選手との距離にも注意を払う。

(カ)水・氷を溜めたクーラーボックスにボトルを漬けない。

(キ)ボトルを他の選手と共有しない。

(ク)タオル等、リネンを他の選手と共有しない。

(ケ)うがいた水ピッチ内に吐かない。

(コ)ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐いたり、手鼻をかまない。

○ハーフタイム・交代・退場時、試合終了時の対応について

(ア)更衣室に戻る前に消毒や手洗い、うがいをする。

(イ)選手交代後においても消毒や手洗い、うがいをする。

(ウ)退席や退場の際等、審判員と会話をする事があってもその距離には十分に配慮する。

(エ)怪我をした選手を他の選手がむやみに接触しない。また、ピッチ外に当該選手を移動させる際は、おんぶやだっこを避け、担架を活用する。仮に、おんぶ等をして当該選手を移動させた場合、移動に関わった人は速やかに消毒を行う。

(オ)メディカルスタッフはラテックスグローブを活用する。

(カ)試合後のチーム、審判員との挨拶、相手チームベンチへの挨拶は行わない。

(5) 試合後

(ア)更衣室が狭い場合の更衣の順番についてはローテーションを組む等の工夫をする。更衣終了後は更衣室の窓とドアを開けっ放しにする。

(イ)着替えを素早く済ませ、更衣室から早く出る。

(ウ)シャワーの利用についてはローテーションを組んで交代で浴びる等の工夫をする。

(エ)試合会場のルールに従い、ゴミを密封した状態で処分するか、持ち返る。

(6) 帰宅後の過ごし方

(ア)手洗いうがいを徹底する。

(イ)バランスの良い食事をとる。

(ウ)検温と共に行動記録を書く。

(エ)早めに就寝し、十分な睡眠時間を確保する。

(7) 事後対応

(ア)帰宅後 14 日以内にチームの中から感染者が出た場合は、大会実施委員の感染対策責任者に速やかにその旨伝える。